【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和3年4月22日(2021.4.22)

【公開番号】特開2019-166737(P2019-166737A)
【公開日】令和1年10月3日(2019.10.3)
【年通号数】公開・登録公報2019-040
【出願番号】特願2018-56866(P2018-56866)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　11/70　(2006.01)
Ｂ２６Ｄ　3/08　(2006.01)
Ｂ２６Ｄ　1/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　11/70
Ｂ２６Ｄ　3/08　Ｚ
Ｂ２６Ｄ　1/06　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和3年3月15日(2021.3.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
テープに印刷を行う印刷方法であって、
前記テープに印刷を行う印刷装置が、
前記テープにおける印刷開始位置を、該印刷開始位置を境として隣り合う２つの領域が一体的な状態で保持される態様でハーフカットし、
前記テープにおける前記印刷開始位置と、前記テープに印刷する内容を示す情報を含むラベルデータとに基づいて、前記テープにおける、前記ラベルデータが印刷された領域を前記テープから切断して切り離すフルカット位置を決定し、
前記テープにおける前記印刷開始位置と前記フルカット位置との間となる領域に前記ラベルデータを印刷するとともに、前記テープにおける、前記フルカット位置を境として前記ラベルデータが印刷された領域とは反対側の領域のうち、前記フルカット位置と、該フルカット位置から所定の距離となる位置との間に、目印を印刷し、
前記フルカット位置で前記テープを切断する、
処理を実行することを特徴とする印刷方法。
【請求項２】
請求項１に記載の印刷方法であって、
前記所定の距離は、前記テープに印刷をする際に、前記印刷装置の構造上、印刷することが困難な領域の寸法、又は、前記テープを搬送する前記印刷装置の搬送処理部により前記テープを搬送するために必要な領域の前記テープの搬送方向の寸法と対応する
ことを特徴とする印刷方法。
【請求項３】
請求項２に記載の印刷方法であって、
前記目印を印刷する処理では、前記印刷装置は、
前記フルカット位置を前記テープの先端としてラベルデータを印刷する際に印刷開始位置となる位置よりも前記先端側となる領域内に前記目印を印刷する

ことを特徴とする印刷方法。
【請求項４】
請求項３に記載の印刷方法であって、
前記目印を印刷する処理では、前記印刷装置は、
前記フルカット位置を前記テープの先端としてラベルデータを印刷する際の前記ハーフカット位置となる位置よりも前記先端側となる領域内に前記目印を印刷する
ことを特徴とする印刷方法。
【請求項５】
請求項１乃至請求項４のいずれか１項に記載の印刷方法であって、
前記ラベルデータを印刷する処理では、前記印刷装置は、
前記テープにおける、前記印刷開始位置と前記フルカット位置との間となる領域に、前記ラベルデータを印刷する複数の領域を設定し、該複数の領域のそれぞれに連続して前記ラベルデータを印刷する処理を実行可能であり、
前記ラベルデータを印刷する前記複数の領域のそれぞれに連続して前記ラベルデータを印刷する場合には、前記印刷装置は、前記ラベルデータを印刷した領域同士が一体的な状態で保持される態様でハーフカットする処理を実行可能である
ことを特徴とする印刷方法。
【請求項６】
請求項１乃至請求項５のいずれか１項に記載の印刷方法であって、
前記テープは、長手方向に巻かれて環形状を有した前記テープを含む被記録媒体を収容した媒体アダプタから供給され、
前記目印は、前記媒体アダプタに前記テープを収容する際に、前記媒体アダプタから前記テープを突出させる突出量の基準となる印刷範囲で印刷される
ことを特徴とする印刷方法。
【請求項７】
請求項１乃至請求項５のいずれか１項に記載の印刷方法であって、
前記テープは、粘着層を含む前記ラベルデータを印刷するラベル層と、該ラベル層における前記粘着層を保護するセパレータとを備え、
前記フルカット位置で前記テープを切断する処理では、前記印刷装置は、前記ラベル層及び前記セパレータを切断し、
前記ハーフカットする処理では、前記印刷装置は、前記ラベル層のみを切断する
ことを特徴とする印刷方法。
【請求項８】
テープに印刷を行う印刷装置であって、
前記テープを搬送する搬送処理部と、
前記テープを切断して分離するフルカット、及び切断位置を境として隣り合う２つの領域が一体的な状態で保持される態様で前記テープを切断するハーフカットをすることが可能な切断処理部と、
前記テープに印刷する内容を示す情報を含むラベルデータを前記テープに印刷する印刷処理部と、
前記テープにおける印刷開始位置と前記フルカットするフルカット位置との間となる領域に前記ラベルデータを印刷するとともに、前記テープにおける、前記フルカット位置を境として前記ラベルデータが印刷された領域とは反対側の領域のうち、前記フルカット位置と、該フルカット位置から所定の距離となる位置との間に、目印を印刷する処理を、前記搬送処理部及び前記印刷処理部に行わせる制御部と、
を備えることを特徴とする印刷装置。
【請求項９】
テープに印刷を行う印刷装置の制御部によって、
搬送処理部により、前記テープを搬送させ、
切断処理部により、前記テープを切断して分離するフルカット、及び切断位置を境とし

て隣り合う２つの領域が一体的な状態で保持される態様で前記テープを切断するハーフカットをさせ、
　印刷処理部により、前記テープに印刷する内容を示す情報を含むラベルデータを前記テープに印刷させ、
　前記搬送処理部及び前記印刷処理部により、前記テープにおける印刷開始位置と前記フルカットするフルカット位置との間となる領域に前記ラベルデータを印刷するとともに、前記テープにおける、前記フルカット位置を境として前記ラベルデータが印刷された領域とは反対側の領域のうち、前記フルカット位置と、該フルカット位置から所定の距離となる位置との間に、目印を印刷させる、
　ことを特徴とするプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
　本発明の一態様に係る印刷方法は、テープに印刷を行う印刷方法であって、前記テープに印刷を行う印刷装置が、前記テープにおける印刷開始位置を、該印刷開始位置を境として隣り合う２つの領域が一体的な状態で保持される態様でハーフカットし、前記テープにおける前記印刷開始位置と、前記テープに印刷する内容を示す情報を含むラベルデータとに基づいて、前記テープにおける、前記ラベルデータが印刷された領域を前記テープから切断して切り離すフルカット位置を決定し、前記テープにおける前記印刷開始位置と前記フルカット位置との間となる領域に前記ラベルデータを印刷するとともに、前記テープにおける、前記フルカット位置を境として前記ラベルデータが印刷された領域とは反対側の領域のうち、前記フルカット位置と、該フルカット位置から所定の距離となる位置との間に、目印を印刷し、前記フルカット位置で前記テープを切断する、処理を実行する印刷方法である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
　また、本発明の一態様に係る印刷装置は、テープに印刷を行う印刷装置であって、前記テープを搬送する搬送処理部と、前記テープを切断して分離するフルカット、及び切断位置を境として隣り合う２つの領域が一体的な状態で保持される態様で前記テープを切断するハーフカットをすることが可能な切断処理部と、前記テープに印刷する内容を示す情報を含むラベルデータを前記テープに印刷する印刷処理部と、前記テープにおける印刷開始位置と前記フルカットするフルカット位置との間となる領域に前記ラベルデータを印刷するとともに、前記テープにおける、前記フルカット位置を境として前記ラベルデータが印刷された領域とは反対側の領域のうち、前記フルカット位置と、該フルカット位置から所定の距離となる位置との間に、目印を印刷する処理を、前記搬送処理部及び前記印刷処理部に行わせる制御部と、を備える印刷装置である。
　また、本発明の一態様に係るプログラムは、テープに印刷を行う印刷装置の制御部によって、搬送処理部により、前記テープを搬送させ、切断処理部により、前記テープを切断して分離するフルカット、及び切断位置を境として隣り合う２つの領域が一体的な状態で保持される態様で前記テープを切断するハーフカットをさせ、印刷処理部により、前記テープに印刷する内容を示す情報を含むラベルデータを前記テープに印刷させ、前記搬送処理部及び前記印刷処理部により、前記テープにおける印刷開始位置と前記フルカットするフルカット位置との間となる領域に前記ラベルデータを印刷するとともに、前記テープに

おける、前記フルカット位置を境として前記ラベルデータが印刷された領域とは反対側の領域のうち、前記フルカット位置と、該フルカット位置から所定の距離となる位置との間に、目印を印刷させる、ことを特徴とするプログラムである。